

## 3.1.1. シヤープ°

### 3.1.1. シヤープの対策 「対策の種類」 「浸透度」

#### 3.1.1. 課題への対策

- ①：優先業務の7つの基準設定
- ②：職場環境対策機器導入  
フラスマクスター技術
- ③：従業員啓発の徹底

#### 3.1.1. その他対策(一例)

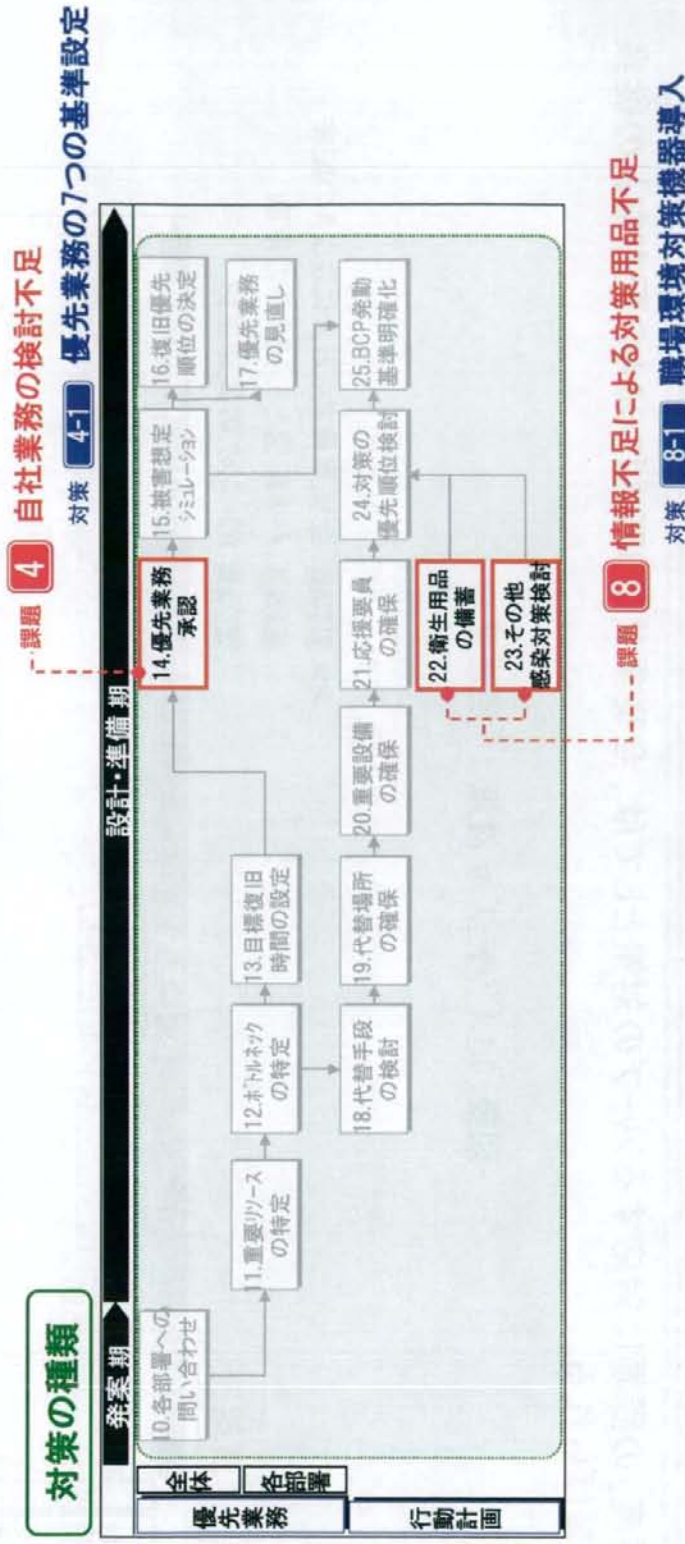
##### 3.1.1. 学びのポイント

※掲載した対策や工夫点に関しては、ヒアリングによって伺った範囲のものであり、企業が策定している対策全体の一部である。また課題に関しては、インタビューが考察によって導き出した仮説である。

### 3.1.1.1. シャープの対策：対策の種類

「対策の種類」の課題に対応するシャープの対策として、優先業務の7つの基準設定、職場環境対策機器導入が挙げられる。

図表. 3.1.1.1. シャープの対策：「対策の種類」



※ 課題に関しては、イリュージョンが考察によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型コロナインフルエンザ対策策定の際に持つと思われるものである。特定の企業の持つ課題を指し示すものではない。

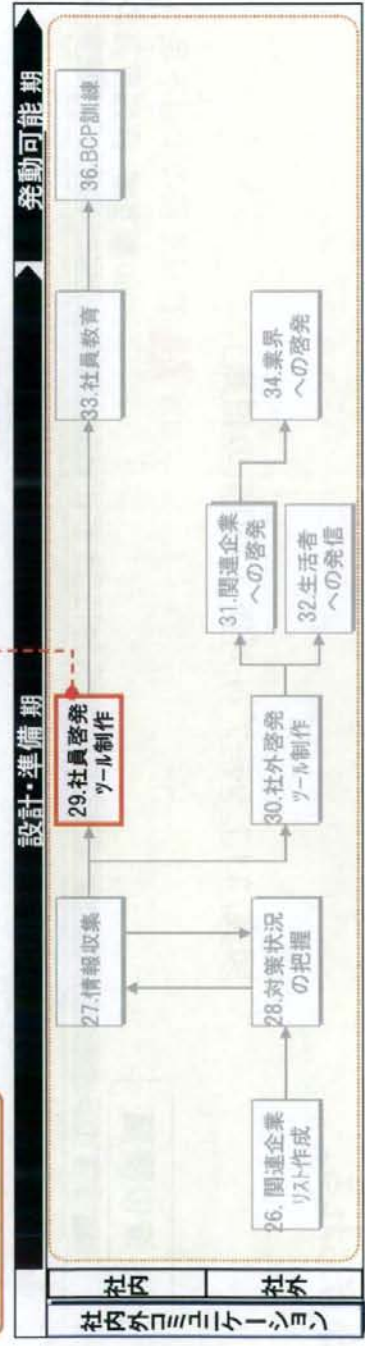
### 3.1.1. シャープの対策：浸透度

また、「浸透度」の課題に対応するシャープの対策としては、全従業員約3万人にQ&Aの配布などの従業員啓発、が挙げられる。

図表. 3.1.1. シャープの対策：「浸透度」

- 課題** 11 啓発ツールの活用不足
- 対策** 11-1 全従業員約3万人にQ&Aの配布
- 11-2 メール配信とイントラネットの連動
- 11-3 eラーニングの実施検討

#### 浸透度



※ 課題に関しては、イニシアチブが考慮によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型コロナウイルス対策策定の際に持つと思われるものである。特定の企業の持つ課題を指し示すものではない。

## 3.1.1. 課題への対策①：優先業務の7つの基準設定

シャープでは、各拠点に優先業務についてのヒアリングを実施し、主に7つの基準から継続すべき優先業務を検討している。

図表 3.1.1. 課題への対策①：優先業務の7つの基準設定

課題	対策																
<p><b>課題 4 自社業務の検討不足</b></p>	<p><b>対策 4-1 優先業務の7つの基準設定</b></p>																
	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内ヒアリングより優先業務の基準を設定(7つ)</li> </ul>																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="611 647 671 844">優先業務 選定基準</th> <th data-bbox="611 844 671 1238">基準とする理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="684 647 743 844">・ コンプライアンス</td> <td data-bbox="684 844 743 1238">: 法令に係わるため</td> </tr> <tr> <td data-bbox="756 647 815 844">・ 社会インフラ関連</td> <td data-bbox="756 844 815 1238">: 社会的に不可欠であるため (システム、サポートなど)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="829 647 888 844">・ 顧客への影響</td> <td data-bbox="829 844 888 1238">: 顧客の生活に係わるため (修理、コールセンターなど)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="901 647 960 844">・ 取引先への影響</td> <td data-bbox="901 844 960 1238">: 取引先の経営に係わるため (購入代金の支払いなど)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="973 647 1033 844">・ 従業員への影響</td> <td data-bbox="973 844 1033 1238">: 社員の生活に係わるため (給与の支払いなど)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1046 647 1105 844">・ 社内ITシステム管理関連</td> <td data-bbox="1046 844 1105 1238">: 社内の必須業務継続に係わるため</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1118 647 1177 844">・ 事業所保安・施設管理</td> <td data-bbox="1118 844 1177 1238">: 最低限の管理が必要であるため</td> </tr> </tbody> </table>	優先業務 選定基準	基準とする理由	・ コンプライアンス	: 法令に係わるため	・ 社会インフラ関連	: 社会的に不可欠であるため (システム、サポートなど)	・ 顧客への影響	: 顧客の生活に係わるため (修理、コールセンターなど)	・ 取引先への影響	: 取引先の経営に係わるため (購入代金の支払いなど)	・ 従業員への影響	: 社員の生活に係わるため (給与の支払いなど)	・ 社内ITシステム管理関連	: 社内の必須業務継続に係わるため	・ 事業所保安・施設管理	: 最低限の管理が必要であるため
優先業務 選定基準	基準とする理由																
・ コンプライアンス	: 法令に係わるため																
・ 社会インフラ関連	: 社会的に不可欠であるため (システム、サポートなど)																
・ 顧客への影響	: 顧客の生活に係わるため (修理、コールセンターなど)																
・ 取引先への影響	: 取引先の経営に係わるため (購入代金の支払いなど)																
・ 従業員への影響	: 社員の生活に係わるため (給与の支払いなど)																
・ 社内ITシステム管理関連	: 社内の必須業務継続に係わるため																
・ 事業所保安・施設管理	: 最低限の管理が必要であるため																

※ 課題に関しては、イノベーションが考察によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型インフルエンザ対策策定の際にとつと思われるものである。特定の企業の特つ課題を指し示すものではない。

## 3.1.1. 課題への対策②：職場環境対策機器導入

シャープでは、国内外の事業所に1万台のプラスマクラスターイオン発生機を導入し、社員へも家庭でも家庭での対策を推奨している。

図表. 3.1.1. 課題への対策②：職場環境対策機器導入

### 課題

**課題 8** 情報不足による対策用品不足

### 対策

**対策 8-1**

### 職場環境対策機器導入

- ・ 国内外の事業所に1万台のプラスマクラスターイオン発生機導入
  - 国内の全事業所と関連企業に約9,000台を導入
  - インドネシアとタイ、中国の事業所に約1,000台を導入
- ・ プラスマクラスターイオン発生機による家庭での対策を推奨



※ 課題に関しては、イノベーションが考察によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型インフルエンザ対策策定の際持つと思われるものである。特定の企業の持つ課題を指し示すものではない。

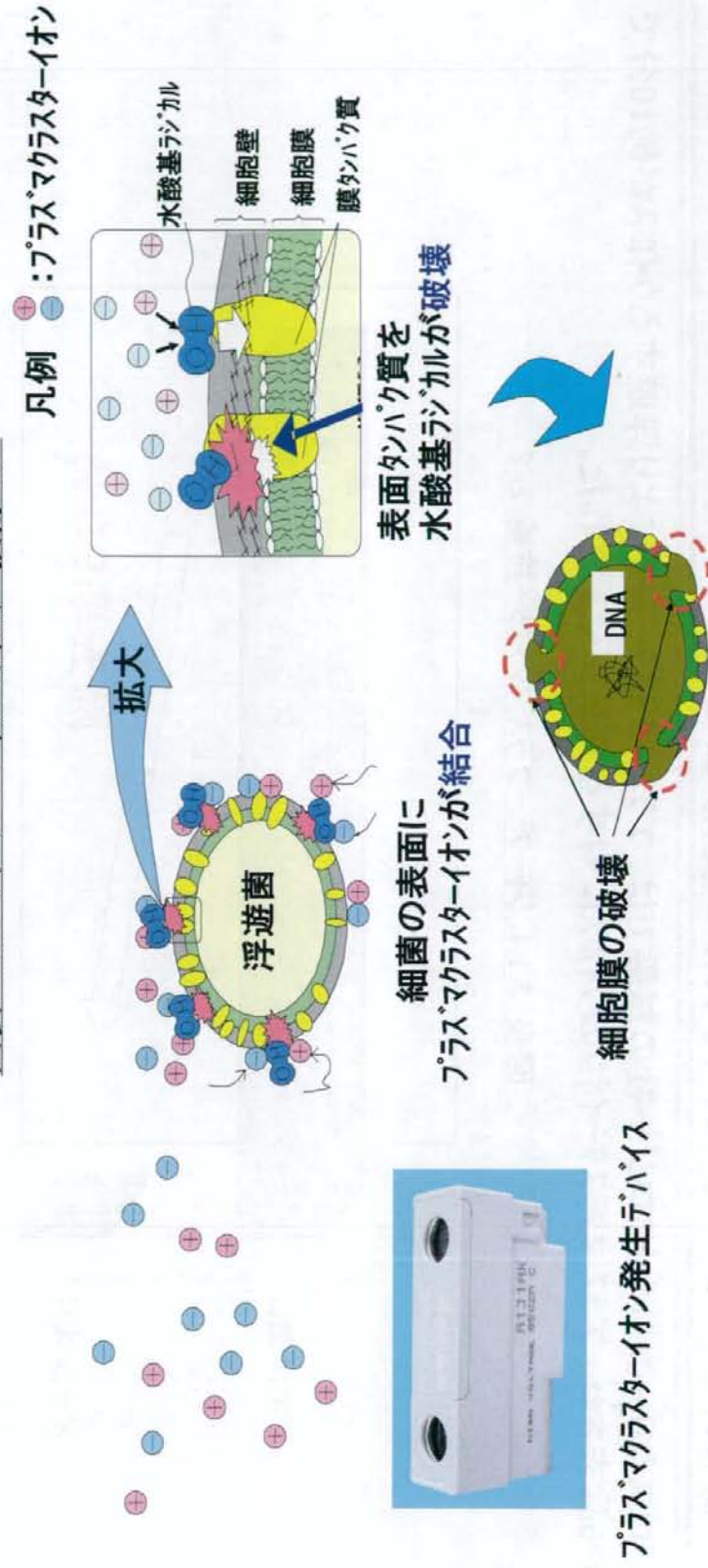
業務用プラスマクラスターイオン発生機  
(約30畳用)

家庭用プラスマクラスターイオン発生機  
(約6畳用)

### 3.1.1. シャープ：プラスマクラーター技術 1/2

自然界にあるのと同じ+(プラス)と-(マイナス)のイオンを放出し、浮遊するカビ菌やウイルスを空中で分解・除去する空中除菌技術である。

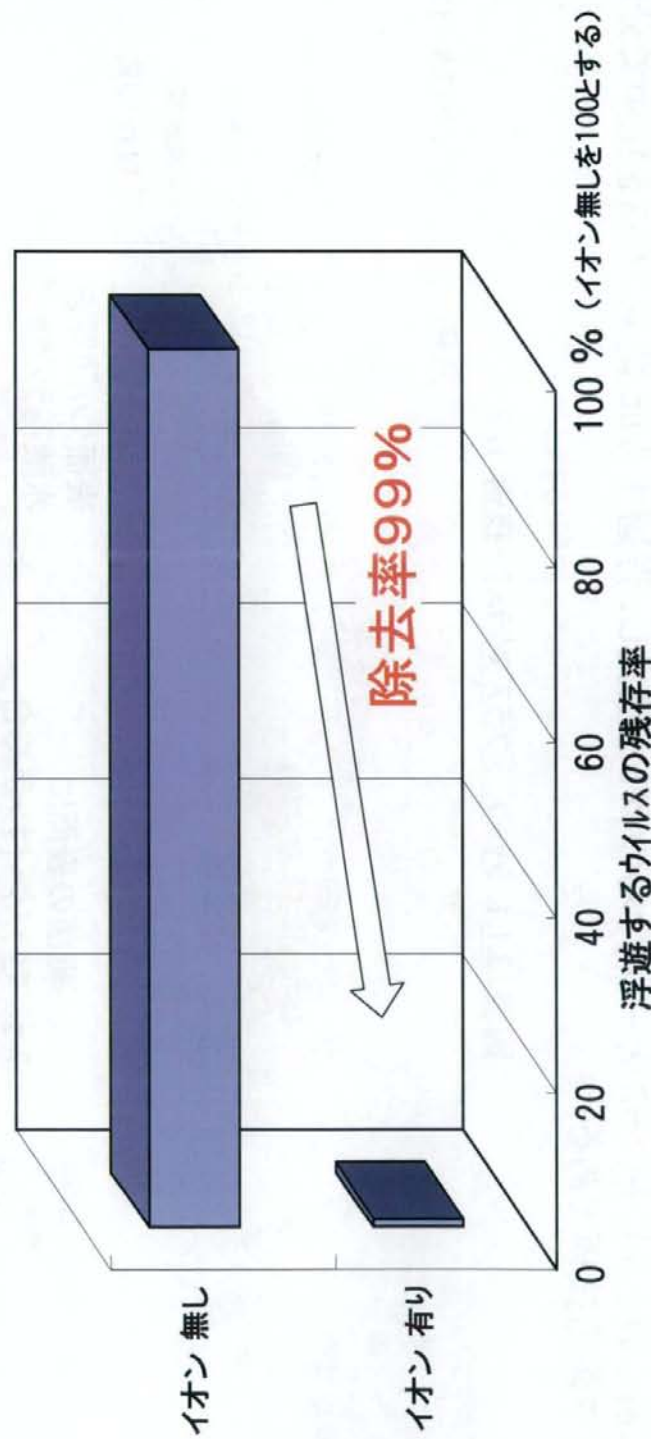
図表. 3.1.1. シャープ：プラスマクラーター技術 1/2



### 3.1.1. シャープ：プラスマクラスター技術 2/2

レトロスクリーン・バイロジュー社の試験では、プラスマクラスターイオンにより浮遊するウイルスが約10分で99%除去され、プラスマクラスターイオンのウイルスに対する効果が確認された。

図表. 3.1.1. シャープ：プラスマクラスター技術 2/2



イオン平均濃度: 7,000個/cm<sup>3</sup>、イオン処理時間: 10分

●試験機関: イギリス レトロスクリーン・バイロジュー社

●試験方法: 1m<sup>3</sup>ボックスにウイルスを浮遊させ、空気中のウイルス除去率を測定

※シャープ 受領資料より  
イーソリューションズ作成

### 3.1.1. 課題への対策③：従業員啓発の徹底 1/2

シャープでは、Q&Aの配布、定期的なメール配信、イントラネットへの掲載など様々な従業員の啓発を行っており、さらに、認知・理解の促進のため、eラーニングの開発も行っている。

図表. 3.1.1. 課題への対策③：従業員啓発の徹底 1/2

#### 課題

課題① 啓発ツールの活用不足

#### 対策

- 対策 11-1
- 11-2
- 11-3

全従業員約3万人にQ&Aの配布  
メール配信とイントラネットの連動  
eラーニングの実施検討



※ 課題に関しては、イノベーションが考察によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型インフルエンザ対策策定の際にとられるものである。特定の企業の特許課題を指し示すものではない。





### 3.1.1. その他対策(一例)

シャープでは、その他に以下のような対策を行っている。(一例)

図表. 3.1.1. その他対策(一例)

対策	詳細
危機管理規定の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>2008年の春より、経営管理担当副社長をトップとした新型インフルエンザ対策委員会を立ち上げ、総務やCSR、海外担当部門などが中心となって対策を推進</li> </ul>
海外拠点より情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外拠点から継続的に情報を収集し、対策に反映(海外発生の場合でも国内警戒)</li> </ul>
「安否確認システム」のテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>罹患確認や家族の状況を把握するための携帯電話による「安否確認システム」を導入し、訓練を実施、体温計の使い方についての訓練も実施予定</li> </ul>
マスク20日分備蓄	<ul style="list-style-type: none"> <li>全従業員約3万人分の衛生用品を20日分備蓄</li> <li>通勤手段や目的により備蓄するマスクの種類を分けており、公共交通機関を使う通勤者用には抗ウイルスマスク(1人10枚、2日1枚 × 20日分)、それ以外の通勤者や来客者にはサージカルマスク(1人40枚、1日2枚 × 20日分)を備蓄</li> <li>体温計は100人に1台の割合で用意</li> </ul>
入館時のチェック実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>Phase 4になった段階で、入館時の体温測定、発生病・近隣国への訪問歴などに関するチェック(簡単なアンケート形式)を実施</li> </ul>

## 3.1.1. 学びのポイント

シヤープの新型インフルエンザ対策からの学びのポイントとして、拠点・従業員に複数の対策実施、2種類のマスクの使い分けなどがあると考えられる。

図表. 3.1.1. 学びのポイント

対策

学びのポイント

- 8-1** **職場環境対策機器導入**  
国内外の事務所へ職場環境対策機器 (プラズマクラスターイオン)を 10,000台 導入  
国内の事務所を 100% カバー
- その他**  
マスク 20日分 備蓄  
抗ウイルスマスクとサージカルマスク(20日分)を  
従業員約3万人分 備蓄  
100人に1台の割合で 体温計を用意
- 11-1** **全従業員約3万人にQ&Aの配布**  
従業員約3万人に配布  
家族にも情報共有するように指示
- 11-2** **メール配信とイントラネットの連動**
- 11-3** **eラーニングの実施検討**

### 1. 拠点・従業員に複数の対策実施

感染確率を抑制するため一部の拠点(例:本社)や機能従事者だけでなく、拠点・従業員にも対して複数の対策を実施

### 2. 2種類のマスクの使い分け

公共交通機関で通勤する従業員は抗ウイルスマスク、車で通勤する従業員はサージカルマスクを使用するなどのマスクの使い分けを検討

### 3. 複数の手段による徹底した啓発と予防推進

多くの従業員に対し新型インフルエンザ対策に関する知識を共有するため、複数の方法を用意し、感染リスク低減のための予防手段を推進

※掲載した学びのポイントに関しては、ヒアリングによって得た対策をもとに、ユーザーエンゲージメントが分析・考察によって導き出したものである。

## 3.1.2. 富士フィルム

### 3.1.2. 富士フィルムの対策 「対策の種類」

「浸透度」

### 3.1.2. 課題への対策

- ①：製薬・医療機器・印刷原料を優先
- ②：ビルの出入り業者に対策用品配布
- ③：多くの母語でマニュアル作成

### 3.1.2. その他対策(一例)

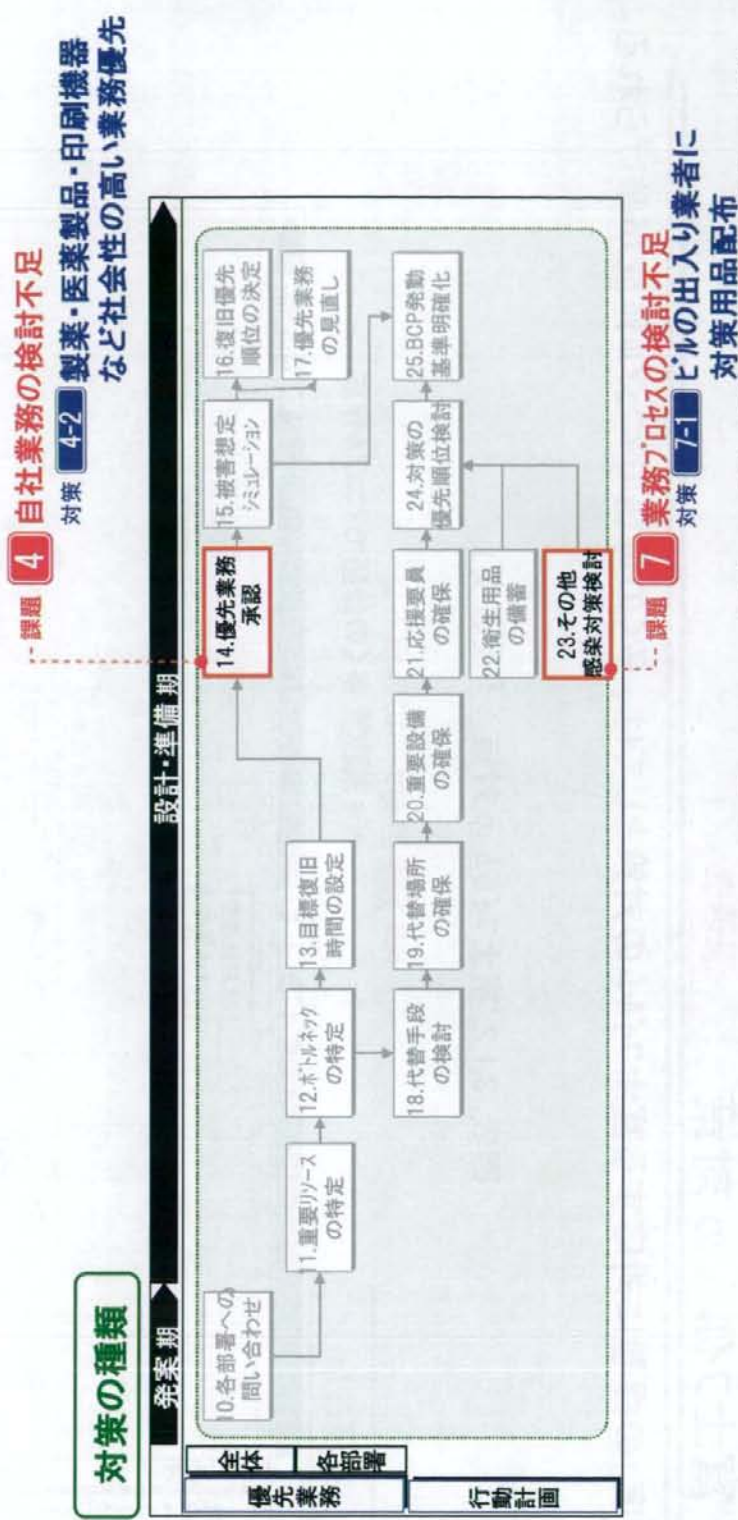
#### 3.1.2.1. 学びのポイント

※掲載した対策や工夫点に関しては、ピアリングによって何った範囲のものであり、企業が決定している対策全体の一部である。また課題に関しては、インターネットが専断によって導き出した仮説である。

### 3.1.2. 富士フィルムの対策：対策の種類

「対策の種類」の課題に対応する富士フィルムの対策として、製薬・医薬製品・印刷機器など社会性の高い業務を優先、ヒルの出入り業者に対策用品配布が挙げられる。

図表. 3.1.2. 富士フィルムの対策：「対策の種類」

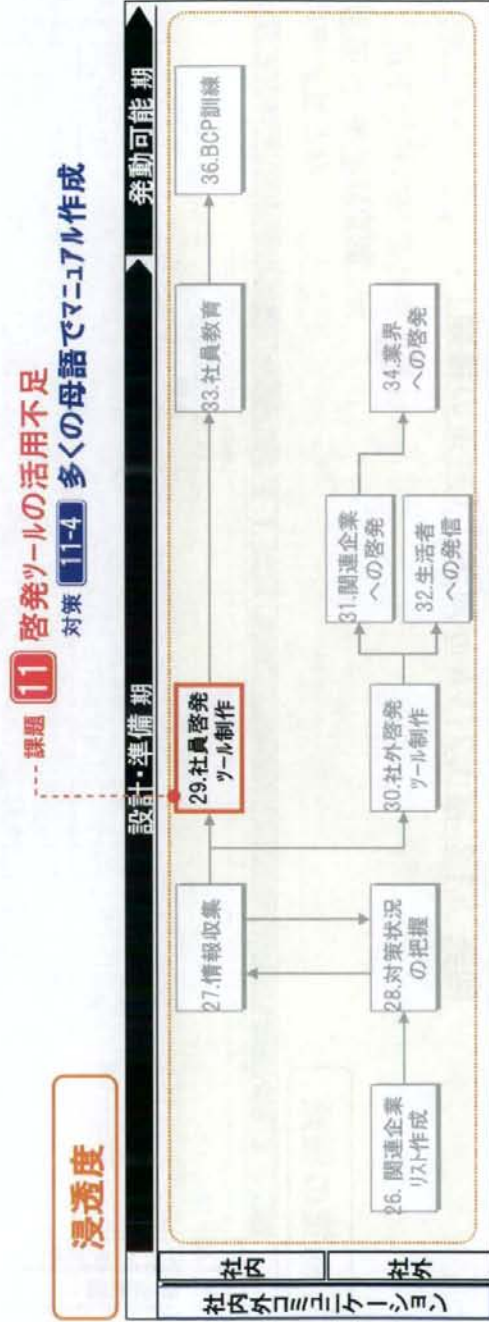


※ 課題に関しては、インタビューが考察によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型インフルエンザ対策策定の際に持つと思われるものである。特定の企業の特許課題を指し示すものではない。

### 3.1.2. 富士ファイルムの対策：浸透度

また、「浸透度」の課題に対応する富士ファイルムの対策としては、多くの母語でマニュアル作成が挙げられる。

図表. 3.1.2. 富士ファイルムの対策：「浸透度」



※ 課題に関しては、インタビューが考察によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型インフルエンザ対策策定の際に持つと思われるものである。特定の企業の持つ課題を指し示すものではない。

### 3.1.2. 課題への対策①：製薬・医療機器・印刷機器を優先

富士フイルムでは、社会性の高い業務である製薬部門、医療機器部門、印刷機器部門を優先し、医療機器、印刷機器については在庫の調整を依頼している。

図表. 3.1.2. 課題への対策①：製薬・医療機器・印刷機器を優先

課題

課題④ 自社業務の検討不足

対策

対策④-2 製薬・医療機器・印刷機器など社会性の高い業務を優先

対策④-2

製薬

肺炎の薬剤(PNC)や  
放射性医薬品など



医療機器

X線画像診断システム



印刷機器

印刷機器  
(新聞用のCTPプロセサー)



人命に係わる商品

人命に係わる商品

安定した情報の供給  
に係わる商品

※ 課題に関しては、イーソリューションズが考察によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型インフルエンザ対策策定の際、持つと思われるものである。特定の企業の持つ課題を指し示すものではない。

## 3.1.2. 課題への対策②：ビルの出入り業者に対策用品配布

富士フィルムでは、拠点における感染防止として、ビルに出入りしている清掃や警備の業者にマスク、消毒液を配布している。

図表 3.1.2. 課題への対策②：ビルの出入り業者に対策用品配布

### 課題

課題 7 業務プロセスの検討不足

### 対策

対策 7-1

ビルの出入り業者に対策用品配布



※ 課題に関しては、インテュイションが考察によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型コロナウイルス対策策定の際に持つと思われるものである。特定の企業の持つ課題を指し示すものではない。



### 3.1.2. 課題への対策③：多くの母語でマニュアル作成 1/2

富士フイルムでは、新型インフルエンザに関する情報や発生時の行動計画などを記載したオリジナルのマニュアルを、3ヶ国語分(日本語、英語、中国語)の母語で作成し、従業員などへ配布している。

図表 3.1.2. 課題への対策③：多くの母語でマニュアル作成 1/2

#### 課題

課題① 啓発ツールの活用不足

#### 対策

対策③-4 多くの母語でマニュアル作成

- 国内の従業員(派遣など含む)8.5万部<sup>※1</sup>、中国の従業員(派遣など含む)1.7万部<sup>※2</sup>を準備

多くのグローバル企業では日本語と英語の2バージョン

中国の従業員向けの中国語バージョン

※ 課題に関しては、イニシアチブが考察によって導き出した仮説であり、一般的に企業が新型インフルエンザ対策決定の際に持つと思われるものである。特定の企業の持つ課題を指し示すものではない。

より広範囲の従業員に向けた啓発

※1 富士フイルム：3.5万人、富士ゼロックス：5万人  
 ※2 富士フイルム、富士ゼロックスの2社合計

### 3.1.2. 課題への対策③：多くの母語でマニュアル作成 2/2

英語バージョン

**Guide For Influenza Pandemic**

This is a reference for general information to help you understand the current situation and prevent our business with major stakeholders.

**Background** Influenza virus infections are of two types: influenza and pandemic influenza. Influenza is a common respiratory illness that we experience every year. Pandemic influenza is a new and severe influenza that spreads worldwide through air and contact, and causes a large number of deaths. In such a pandemic, the impact of business disruption is expected to be significant for all stakeholders.

**Phase 1** The current situation is an outbreak of influenza.

**Phase 2** The current situation is an outbreak of influenza.

**Phase 3** The current situation is an outbreak of influenza.

**Phase 4** The current situation is an outbreak of influenza.

**Phase 5** The current situation is an outbreak of influenza.

**Phase 6** The current situation is an outbreak of influenza.

It is estimated by the United Nations that if influenza pandemic occurs at the present moment, 150 million people will die worldwide in a worst scenario (current world population approximately 6.8 billion). The current situation is shown in the table below.

Phase	Description
Phase 1	The virus is currently circulating in a limited area.
Phase 2	The virus is spreading to a limited number of countries.
Phase 3	The virus is spreading to a large number of countries.
Phase 4	The virus is spreading to a large number of countries.
Phase 5	The virus is spreading to a large number of countries.
Phase 6	The virus is spreading to a large number of countries.

**FUJIFILM Holdings Corporation**  
**FUJIFILM Corporation**  
 Fuji Xerox Co., Ltd.

中国語バージョン

**新型流感大流行应对指南**

本指南旨在提供有关新型流感大流行的背景信息，帮助贵公司了解新型流感大流行的背景信息，并制定相应的应对措施。本指南旨在提供有关新型流感大流行的背景信息，帮助贵公司了解新型流感大流行的背景信息，并制定相应的应对措施。

**背景** 流感病毒分为两种类型：流行性感冒和新型流感。流行性感冒是一种每年都会发生的呼吸道疾病。新型流感是一种新的、严重的流感，通过空气和接触在全球范围内传播，并可能导致大量死亡。在这种情况下，业务中断的影响预计将对所有利益相关者产生重大影响。

**阶段 1** 当前情况是流感爆发。

**阶段 2** 当前情况是流感爆发。

**阶段 3** 当前情况是流感爆发。

**阶段 4** 当前情况是流感爆发。

**阶段 5** 当前情况是流感爆发。

**阶段 6** 当前情况是流感爆发。

据联合国估计，如果现在发生流感大流行，全球将有 1.5 亿人死于最坏的情况（当前世界人口约 68 亿）。当前情况如下表所示。

阶段	描述
阶段 1	病毒目前仅在有限地区传播。
阶段 2	病毒正在传播到有限数量的国家。
阶段 3	病毒正在传播到大量国家。
阶段 4	病毒正在传播到大量国家。
阶段 5	病毒正在传播到大量国家。
阶段 6	病毒正在传播到大量国家。

**富士胶片控股株式会社**  
**富士胶片株式会社**  
 富士施乐株式会社

### 3.1.2. その他対策(一例)

富士フイルムでは、その他に以下のような対策を行っている。(一例)

図表. 3.1.2. その他対策(一例)

対策	詳細
対策の進むグループ企業と協働の体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>2008年の春より、グループ企業である富士ゼロックスと協働の体制を取っており、月に1、2回ほどの割合で会議を開催</li> </ul>
WHOの宣言より先行	<ul style="list-style-type: none"> <li>WHOの宣言に先行した厚生労働省の担当者会議など政府公式情報によって対策を本格化</li> </ul>
優先業務担当のリストアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各優先業務において主担当者とはバックヤードのリストアップ</li> </ul>
全従業員にマスク30枚、消毒液1本を配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内の全従業員約5.7万人(富士フイルム:2.85万人、富士ゼロックス:2.85万人)にマスク30枚と消毒液(100ml)1本を配布、中国では現地調達</li> <li>予備としてマスクを40万枚、消毒液(100ml)を2万本を用意(富士フイルム、富士ゼロックスの2社合計)</li> </ul>
来客時マニュアル:検温など	<ul style="list-style-type: none"> <li>来客に対して、検温やマスク着用の実施、対応場所の限定を行う予定(検温センサーの導入は検討中)</li> </ul>
各部署の上長を対象にセミナー開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部署の上長を対象に新型インフルエンザに関するセミナーを行い、部署内で情報を共有してもらうことを検討</li> </ul>
安否連絡網の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時の安否連絡網の導入を進めており、導入後にはメンテナンス、訓練を実施予定</li> </ul>

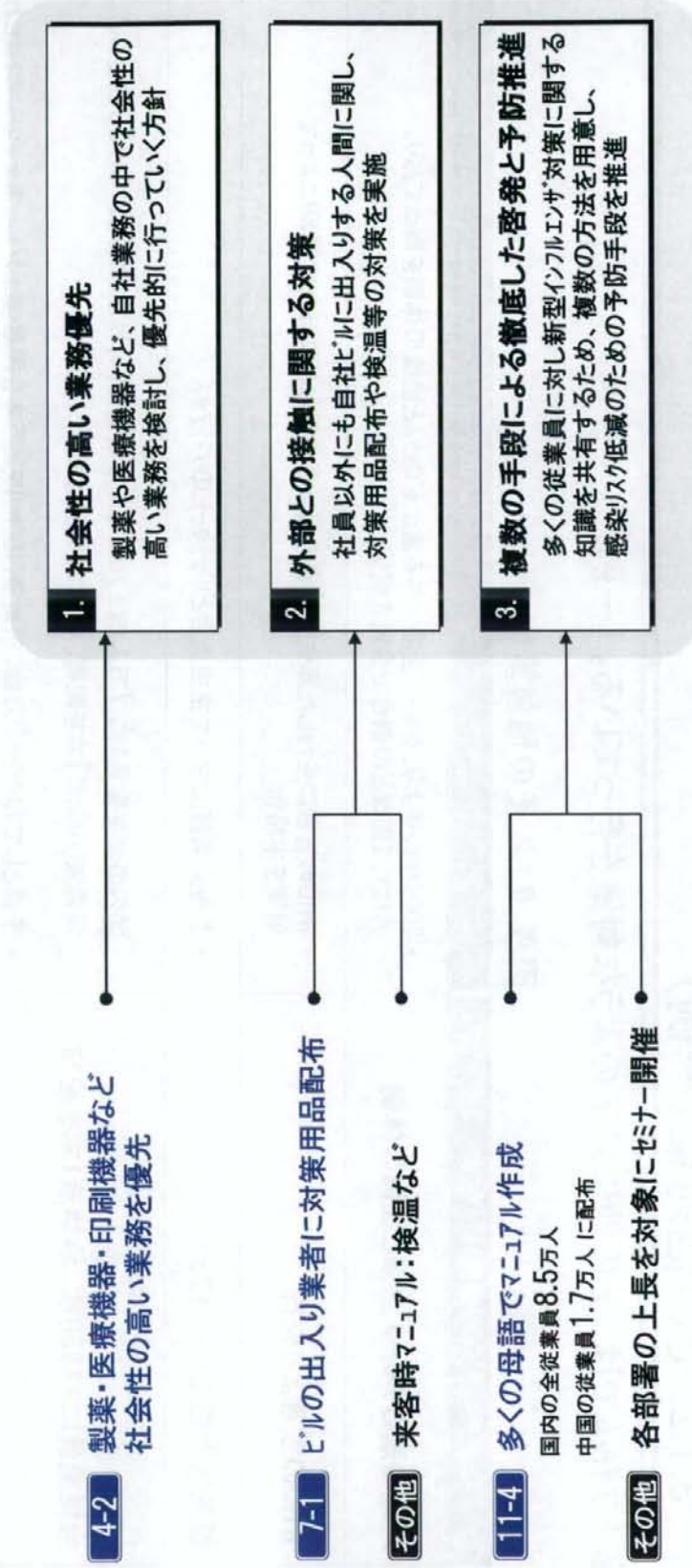
## 3.1.2. 学びのポイント

富士フイルムの新型インフルエンザ対策からの学びのポイントとして、社会性の高い業務優先や、外部との接触に関する対策、などがあると考えられる。

図表. 3.1.2. 学びのポイント

対策

学びのポイント



※掲載した学びのポイントに関しては、ヒアリングによって得た対策をもとに  
 イーソリューションズが分析・考察によって導き出したものである。